

第4学年1組 音楽科学習指導案

1 題材 いろいろな音のひびきを感じとろう

2 本時の目標 (2/3)

楽器の音色の特徴を生かして楽器を組み合わせ、音の重なりから生み出されるよさや面白さを感じとりながら、まとまりを意識した音楽をどのように作るかについて、自分の思いや意図をもち、伝え合うことができる。

3 学習展開

児童の活動	支援と指導上の留意点 (◇は評価)	備考
1 前時までの学習をふり返り、本時の課題を確認する。 ・音色、強弱、反復 ・打楽器の音色の特徴 (材質、奏法、音の高さ、長さ)	○前時での学習をふり返り、「音楽を形作っている要素」の音色・強弱・反復を生かしながら、一人ひとり、音の表現をしたことを想起させる。 ○打楽器をいくつか提示して音を鳴らし、材質を含め、楽器一つ一つに音色の特徴があったことをおさえる。	(全体) 掲示物 <small>(音色・強弱・反復)</small> 打楽器
打楽器を組み合わせる3人1組で音楽をつくろう		
2 組み合わせる打楽器を考え、ワークシートに書く。 音の重なり ・材質 ・奏法 ・音の高さ ・長さ →音色の特徴を生かして	○本時の流れを掲示することで、児童が見通しをもって活動できるようにする。 ○グループで一緒に音楽をつくるために、何を視pointsに楽器を決めたらよいか問い、音の重なりを工夫して選んでいけばよいことに気付かせる。 ◎いろいろな楽器の組み合わせを試させることで、音の重なりよさや面白さを感じ取らせ、グループで意見交流しながら使う楽器を決定させる。 ○ワークシートに、決まった楽器と、なぜそれらを選んだのか理由も記入させる。	(グループ) 電子黒板 教材提示装置 掲示物 <small>(本時の流れ)</small> <small>(音の重なり)</small> ワークシート
3 「中」の部分の音楽づくりをする。 ・音の重ね方 ・盛り上がり方 ・まとまり方	○音楽づくりのルールを確認する。 ○教科書に出ている例を児童に演奏させ、音楽のたてと横の関係をおさえ、それらを意識して音楽づくりに取り組ませる。 ○様々な組み合わせや重ね方などができるよう、マグネット式カードを用意し、多めに配布する。 ◎並べたカードを音で試させながら、互いの楽器に対して意見を言い合い、よりよい表現を求めさせる。 ◇楽器の音色の特徴を生かして楽器を組み合わせ、音の重なりから生み出されるよさや面白さを感じとりながら、まとまりを意識した音楽をどのように作るかについて、自分の思いや意図をもち、伝え合うことができたか。	(全体) ↓ (グループ) 掲示物 <small>(音楽づくりのルール)</small> <small>(音楽づくりの例)</small> <small>(たてと横の関係)</small> ワークシート ホワイトボード マグネット式カード
4 本時のふり返りをする。	○自分で考えたことや工夫したことだけでなく、友だちのよさもグループや全体で交流することで、充実感を味わわせ、次時への意欲を高める。	(グループ) ↓ (全体)

